

事例に学ぶ

効果的な内部監査の実践ポイント

～不正・不祥事の調査報告書を分析し、内部監査を効果的に行う勘所を解説～

講師 ^{ひぐち}樋口 ^{わたる}達 氏 大手門法律会計事務所
弁護士 公認会計士 公認不正検査士

日時 2019年2月5日(火) 午後2時00分～午後5時00分

最近、企業などにおいて、不正や不祥事が発生すると、事実解明や原因究明のための調査報告書が公表されることが通例です。不正や不祥事の発覚の経緯は様々ですが、内部監査により、不正・不祥事が発見されることも少なくありません。内部監査により、不正や不祥事が発覚したのであれば、実効性のある内部監査が行われた結果であると言っていいでしょう。これに対して、結果的に不正や不祥事は発覚したものの、仮に効果的な内部監査が行われていれば、もっと早期に発見できたのではないかと思われる事例もあります。このように、内部監査の実務を考えるうえで、企業の不正や不祥事に関する調査報告書は、様々な示唆や知見を与えてくれます。

本セミナーでは、実際に企業で発生した不正・不祥事事例を取り上げ、その際に公表された調査報告書を分析し、「内部監査としてどのように対応すればよかったのか」という観点から、効果的な内部監査やポイントについて解説します。

1. 内部監査とは？

(1) 内部監査と他の監査との比較

内部監査、CPA監査、監査役監査 ⇒ 何のために内部監査はあるのか？ ・内部監査の手続の流れ

(2) 不正と不祥事はどのような経緯で発覚するのか？

2. 不正・不祥事が発覚した場合の責任

(1) 取締役は具体的に何をしなければならない？

⇒ 現実に発生した事案をもとに、判例を分析・検討
・不正を認識した場合 ・不正の兆候を発見した場合 ・不正の兆候を認識していなかった場合

(2) 内部統制の構築で意識しなければならないこと

・判例の考え方を整理 ・取締役・監査役の対応のポイント

3. 不正・不祥事はなぜ起こる？

(1) 不正のトライアングル仮説

不正は、「動機」・「機会」・「正当化」が揃ったら発生する ⇒ では、どうしたら防ぐことができるのか？

(2) 内部統制には2種類ある？

・4つの目的と6つの要素 ⇒ とはいえ、内部統制は万能か？ ・内部監査の位置づけは？

4. 心がけるべき内部監査のポイント

(1) 内部監査で心がけるべきこと(失敗して、徒労感だけで終わらないようにするために...)

・書証閲覧 何を見るのか？ どこを見るのか？ ・ヒアリング 質問方法は？ヒアリングの場所は？
・子会社往査 etc

(2) 不正を発見したら、どのような視点で対応するべきか？

・発覚直後は？ 初動対応の重要性
・調査は？ ⇒ 会社が調査？外部委員が調査？
・事後処理は？

5. まとめ、質疑応答

【講師紹介】1993年 東京大学経済学部経済学科卒。1993年 監査法人トーマツ入所。1997年 公認会計士登録。2002年 弁護士登録。2012年 公認不正検査士登録。2018年9月まで 成和明哲法律事務所パートナー。2018年10月に大手門法律会計事務所を開設。

【主な著書】「会社役員のリスク管理 実務マニュアル」、「事例に学ぶ 企業の実情を踏まえたガバナンスの開示」、「コーポレートガバナンス・コードに対応した招集通知・議案の記載例」、「コーポレートガバナンス・コードが求める取締役会のあり方」、「会計不正が株主総会に与える影響の事例分析」、「法務Q&A 会計不正 対応と予防のポイント」、「会社役員が知っておきたい 会計不正のはなし」、「IFRSで企業法務が変わる」、「取締役の善管注意義務のはなし」、「新会社法 企業再編の要点」、「敵対的買収と企業防衛」、「100分でわかる企業法務」など。

※録音・ビデオ撮影はご遠慮下さい。

■主催 経営調査研究会

■後援 金融財務研究会

<https://www.kinyu.co.jp>

Facebook : <https://www.facebook.com/keichoken>

Twitter : <https://twitter.com/#!/keichoken>

Blog : <https://kinyu.co.jp/blog/>

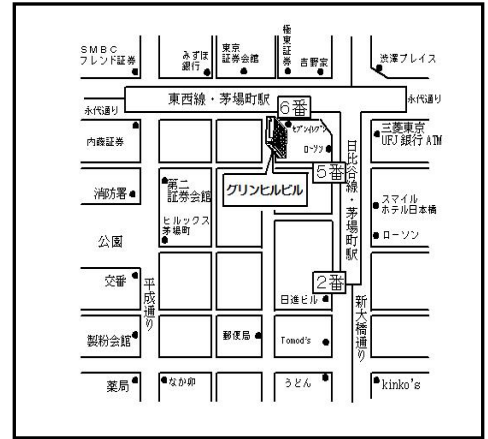


開催日

2019年2月5日(火)
14:00~17:00

会場

茅場町・グリーンヒルビル
金融財務研究会本社 セミナールーム
東京都中央区日本橋茅場町 1-10-8
TEL 03-5651-2030
地下鉄東西線・日比谷線 茅場町駅
6番出口より徒歩1分
(開場は開演の30分前です。)



参加費

1名につき34,800円
(消費税、参考資料を含む)
1社2名以上同時に参加お申込みいただいた場合、お2人目から1名につき29,000円。追加申込みの場合はその旨ご記入下さい。

申込先

経営調査研究会 ホームページ <https://www.kinyu.co.jp/>
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 1-10-8 グリーンヒルビル
TEL 03-5651-2033 FAX 03-5695-8005

申込方法

ファックス又は郵便にて参加申込書をお送り下さい。上記ホームページの申込欄からもお申しいただけます。折り返し、受講証と請求書を郵送致します。参加費は下記の普通預金口座に開催日前日までにお振込み下さい。(但し経理の都合等で間に合わない場合は、ご連絡いただければお待ちいたします。)参加費の払戻しは致しませんので申し込まれた方がご都合の悪い時は代理の方がご出席下さい。又当日ご参加になれなかった場合、当社および金融財務研究会主催の他のセミナーに無料でご出席いただけます。(但し新しいセミナーの参加費との差額が2,000円以上の時は差額をお支払いいただきます。また、振替は1年以内にお問い合わせいたします。)ご記入いただきました個人情報、当社および関係会社の受講者名簿の整備や今後開催されるセミナーのご案内等に使用します。

振込口座

普通預金 口座名 (株)経営調査研究会

三菱UFJ銀行 八重洲通支店 0602180 三井住友銀行 東京中央支店 3207281
みずほ銀行 京橋支店 1813877 三菱UFJ信託銀行 日本橋支店 1979947

----- 切らずにこのままお送り下さい -----

FAX 03-5695-8005

事例に学ぶ
効果的な内部監査の実践ポイント
2 / 5

◆参加申込書◆

年 月 日

ご連絡・講師へのご質問等ご記入下さい	会社名	TEL FAX	
	所在地	E-Mail 〒	
	参加者ご氏名	部課名	
	〃	〃	
	〃	〃	
	〃	〃	
	書類送付先 (同上の場合記入不要)	ご担当者 TEL	部課名 FAX

*セミナーコード 0227 (Law-k190227)
お申込の翌日には「受講証・請求書」を発送しておりますが、お手元に届かない場合は、弊社までご連絡下さい。